

標記労働争議ニ関スル其ノ後ノ経過左記ノ通り

一 會社側

会社側幹部ハ従業員ノ不安気分ヲ一掃スヘク對策ニ就キ協議セル模様ニシテ各工場ニ於ケル従業員中ノ急進分子ノ調査ヲ各主任ニ命シ一般緊張セシメントシツ、アリ

二 職工側

當務職工ハ本月十六日平常通り作業ニ従事シ居リ其番取工ハ例ノ如ク約七百名位娯樂費ニ集合シ各自ノ意見ヲ述ヘタルモ氣勢昂ラス
一方委員側ハ今日午前七時娯樂室ニ集合シ協議ノ結果本日ヨリ少数委員ヲ派シテ協議セシメ他ハ各工場持場ニ就キ作業シ従事スルコトヲ申合セテ散会シ今日午後六時頃更ニ委員全部

寄宿舎大広間ニ集合シ今後委員トシテ活動スルヨリハ工場内ニテ作業ニ従事シツ、従業員ノ統制ヲ計ルヲ有利ナリトシ委員會ヲ解散スルコトニ決議、上列記ハ聲明書ヲ作成シ一般従業員ニ配布セリ

三 無産團體側ノ策動

(1) 總同盟側

市外南綾瀬町柳原三九〇細田信藏方(東京鐵工組合堀切支部事務所)鐘紡減給反対連絡事務所ニ於テハ熊本藏山下鶴松等主トナリ鐘紡取工定ノ少別訪問ヲ為シ盛シニ組合加入ヲ勧誘シツ、アリ

(2) 管下社民党本部内鐘紡減給反対斗争同盟ニ於テハ本月十六日別記(鐘紡争議團)減給基金ヲ送レト腹スル印刷物十萬万ヲ作成シテ全國關係各支部へ配送セリ

(3) 日本紡織労働組合ニ於テハ本月十五日管下神田區元岩井町十